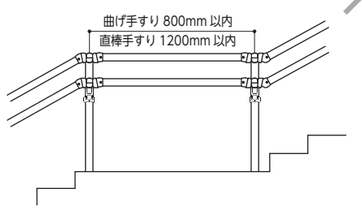
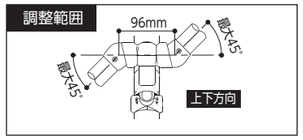
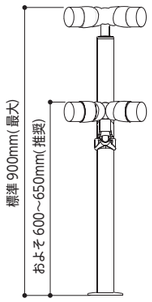
支柱付コーナーブラケットの取付方法

《階段取付の場合》(垂直に角度調整)
コーナー角度調整金具は不要です。



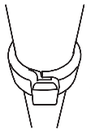
❶ 手すり棒に付属している取扱説明書／施工要領書の参考取付方法において支柱を設置後、上記寸法に基づき割り付けます。





E 埋め込み式コーナー支柱

❷ 支柱への取付位置を決定後、各支柱に挟み込むように支柱付コーナーブラケットを仮固定します。

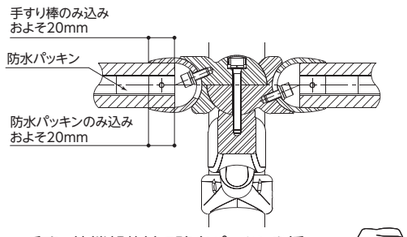

後部分のフックを引っ掛けます。

フックを支点に支柱を挟み込み、ボルトを締めて仮固定します。

⚠注意

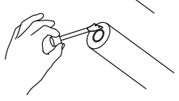
❗お願い 梱包組立品の状態から、六角穴付きボルトを緩め胴体部を2つに分ける際、強く引き離さないでください。ブラケットが破損する恐れがあります。

手すり棒の固定方法

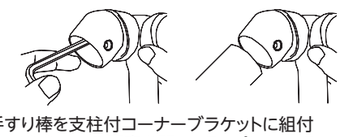


❶ 手すり棒端部芯材に防水パッキンを挿入します。(のみ込みは、およそ20mm)
直棒手すりには不要です。

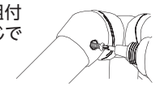
❷ 手すり棒小口部に錆止めローバル(別売)を塗布します。直棒手すりには不要です。



❸ ジョイントの首振り角度を再度調整し、六角穴付きボルトを本締めして、手すり棒をブラケットに挿入します。
(のみ込みは、およそ20mm)



❹ 手すり棒を支柱付コーナーブラケットに組付け、φ3.3mmの下穴を開け、タッピンねじで締め付けます。

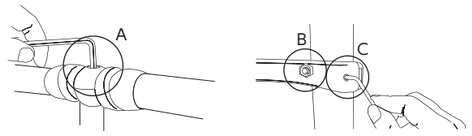


ねじ止め直棒手すりとの固定の場合

ポイント
- ねじ止めの穴位置は180度回転できます。ねじを止めやすい位置に、ねじ穴を回すと作業しやすくなります。
- 固定方法は手すり棒と同様です。防水パッキン、錆止めローバルは不要です。○図のように取付ねじは、リブを避けた位置で固定を行うと施工しやすくなります。

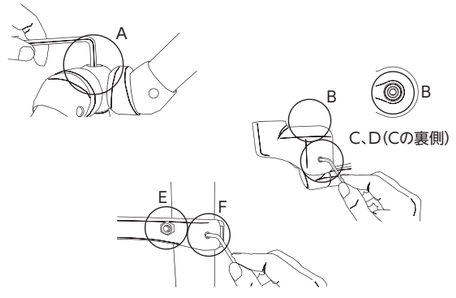
❺-1 (直線取付の場合)

六角棒スパナで下記図3箇所(A～C)の六角穴付きボルトを本締めし、最後に、A箇所にキャップを被せて完成です。



❺-2 (コーナー取付の場合)

六角棒スパナで下記図6箇所(A～F)の六角穴付きボルトを本締めし、最後に、AとB箇所にキャップを被せて完成です。



⚠注意

❗お願い
- 止めねじは、しっかりと(トルク30kgf･cm以上で)締め付けてください。締め忘れますと、支柱からズレ、ブラケットが破損する恐れがあります。
- キャップは指で圧入し、はめ込んでください。取りはずしの際は、キャップの隙間に薄い板等を差し込み取りはずしてください。

BAUHAUS

FreeR-rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

施工要領書

支柱付コーナーブラケット (BJ-75ST)

このたびは当社製品をお買い求めいただき
誠にありがとうございます。
ご使用前にこの要領書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】
施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】
この要領書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの要領書をお渡しください。

マツ六株式会社
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL 06-6774-2255 http://www.mazroc.co.jp

2014年11月[00]

安全上のご注意

施工前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

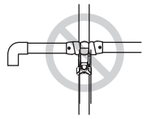
ポイント　この表示は施工のポイントを示しています。これを行うことで施工し易くなります。

⚠注意

禁止

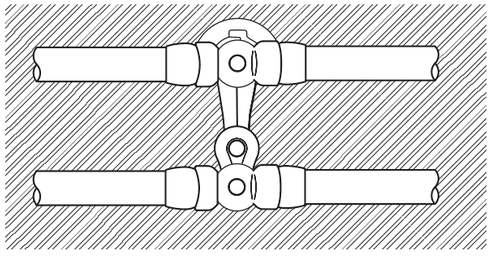
支柱付コーナーブラケットの端部はエンドキャップ納まりにしないでください。

端部エンドは、必ず壁付の納まりにしてください。端部の支えが無いと十分な強度を得られず手すりが曲がったり、ねじのゆるみの原因となります。

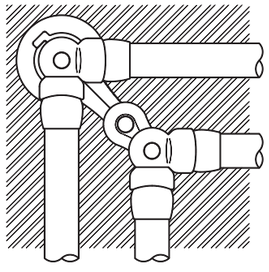


本品の特徴

本パーツをフリーRレールに取付けることで、2段手すりのコーナーに対応出来ます。



階段取付(垂直に角度調整)



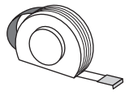
コーナー取付(水平・垂直に角度調整)

施工に必要な工具

電動ドリル

電動ドライバー

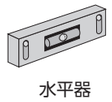
延長コード



コンベックス

金ノコ

ドリルビット
(φ3.3mm)



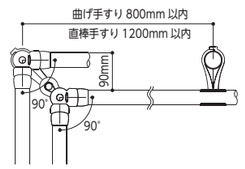
水平器

ヤスリ

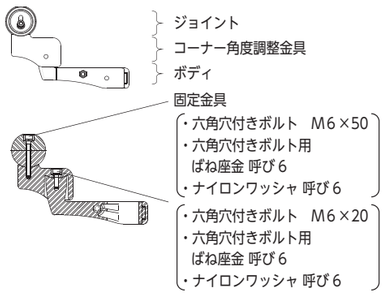
支柱付コーナーブラケットの取付方法

《コーナー取付の場合》(水平・垂直に角度調整)

付属のコーナー角度調整金具が必要です。



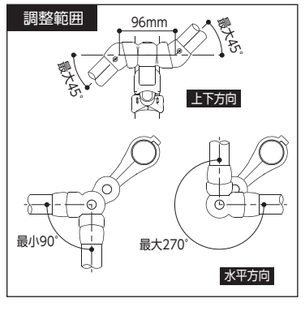
❶ 下記図に基づきコーナー角度調整金具をジョイントとボディの間に装着します。

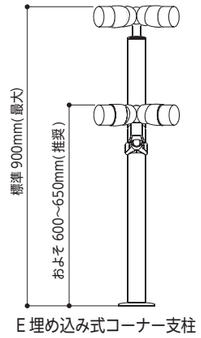


⚠注意

❗お願い　コーナー角度調整金具を装着する際は、六角穴付きボルトの長さをよく確認の上、装着をします。

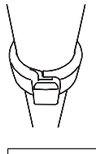
❷ 手すり棒に付属している取扱説明書/施工要領書の参考取付方法において支柱を設置後、上記寸法に基づきコーナー部で手すりを2段設けたい箇所にコーナー角度調整金具を装着した支柱付コーナーブラケットを割付けます。



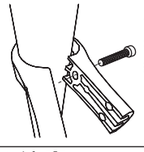


E 埋め込み式コーナー支柱

❸ 支柱への取付高さを決定後、各支柱に挟み込むように支柱付コーナーブラケットを仮固定します。



後部分のフックを引っ掛けます。



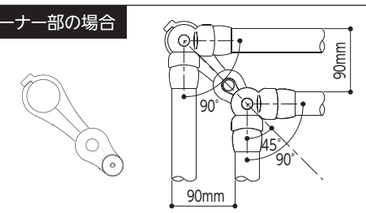
フックを支点に支柱を挟み込み、ボルトを締めて仮固定します。

⚠注意

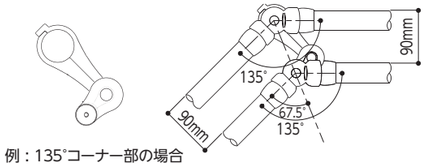
❗お願い　梱包組立品の状態から、六角穴付きボルトを緩め胴体部を2つに分ける際、強く引き離さないでください。ブラケットが破損する恐れがあります。

❹ 2段手すりの水平距離を常に90mmに合わせながら、下記図を参照に、コーナー部の角度にあわせて、コーナー角度調整金具とボディを回転させます。

90°コーナー部の場合



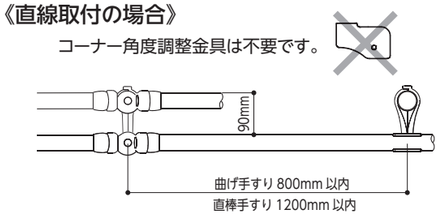
90°コーナー部以外の場合



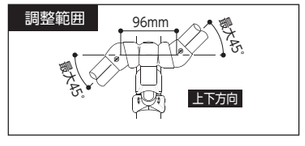
例：135°コーナー部の場合

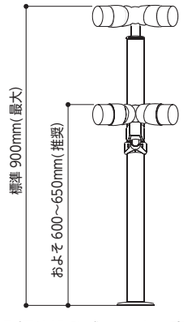
《直線取付の場合》

コーナー角度調整金具は不要です。



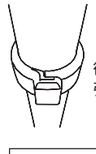
❶ 手すり棒に付属している取扱説明書／施工要領書の参考取付方法において支柱を設置後、上記寸法に基づき割り付けます。



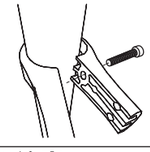


E 埋め込み式コーナー支柱

❷ 支柱への取付位置を決定後、各支柱に挟み込むように支柱付コーナーブラケットを仮固定します。



後部分のフックを引っ掛けます。



フックを支点に支柱を挟み込み、ボルトを締めて仮固定します。

⚠注意

❗お願い　梱包組立品の状態から、六角穴付きボルトを緩め胴体部を2つに分ける際、強く引き離さないでください。ブラケットが破損する恐れがあります。